



聖徒のための情報誌

今月号の内容

釈尊成道会
聖徒さんご紹介(1面)
静岡県朝善寺聖徒団特集(2面)
和歌山市妹背山で竹燈夜開催
よろこびちゃんの質問箱
日蓮大聖人の歩まれた道(3面)
よろこび法話(4面)

平成27年(2015年)12月1日(火)
12月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 末吉 観道
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行
日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

釈尊成道会



日蓮宗霊断師会 霊断部長
愛知県名古屋市長 妙泉寺聖徒団 団長

石黒 泰良

お釈迦様は今からおおよそ二五〇〇年前、インドのシャカ国の王子として四月八日に誕生し、幼名を悉達多(しつたると)と名づけられました。

ある時、悉達多太子は四方の城門から遊樂に出ることになりました。ところが最初に、東の門から出ると老人に会い、次に南の門より出ると病人に会い、西の門から出ると死者に会います。生あれば、老・病・死もあると無常を感じた太子が最後に北の門から出ると、身も心も清浄な一人の出家者に出会いました。そこにまさしく自分の理想の姿を見出した太子は、ついに出家の意志を固めたのです。これを「四門出遊(しもんしゅつゆう)」と言います。

修行への道

太子は十六歳のときに耶輸陀羅(やしゆたら)を妃(きさき)に迎え、一子、羅候羅(らこうら)を迎え、



もうけたことにより後継ぎの問題が解決すると、かねて念願していた出家の志を果たすため、王宮を出て修行の道に入りました。まず太子は、禪定(ぜんじょう)の大家といわれていた二人の仙人にそれぞれ師事し、禪定の極意を修得しましたが、人間の苦は禪定によつて解決できないと悟つてそこを去ります。

降魔成道

その後、尼連禪河(にれんぜんが)の西岸にある森林に入り、呼吸を止める修行や、絶食などの苦行を数年にわたつて行ないました。その結果は心身を極度に消耗するものでありませんでした。

苦行では決して悟りを開く事は出来ないと思われた太子は、苦行を捨て、菩提樹の下で瞑想に入られます。瞑想していると、天の悪魔の大群が刀や弓矢で切り込み、あるいは美女の姿となつて誘惑したりと、太子の瞑想を妨害します。しかし、太子は強い意志と勇気と精神力でこの悪魔を撃退。迫る弓矢や刃は、身に届くことなく地に落ち、あるいは花びらとなつて散り、誘惑する美女は雲散霧消(うんさんむしょう)します。迫り来る悪魔の大群こそ、若き太子の心の中にあつた欲望、嫉妬、葛藤等々なのです。四十九日間にわたる瞑想



の末、十二月八日の早暁、ついに全ての人々を救済する真実と知見を得て悟りを開き、ここに仏陀(ぶつだ)となられました。このとき太子は三十歳でした。これを「成道(じょうどう)」といひ、仏陀となられたお釈迦様の説かれた教えを「仏教」といいます。

お釈迦様の悟り

お釈迦様の悟りは「苦の根本の全ては縁起(えんぎ)の道理によつて生じ滅する」という大法則でした。私達の「命」は、多くの縁において成り立ち、生かされています。同時に私達の「命」は、他の「命」を生かしている存在でもあります。そこには、重みもあり、責任もあります。決して自分一人では存在し得ないのです。

宮沢賢治が、「世界が全体幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」と言ったことは、「縁起」の教え、そのものです。良き事にしろ、悪しき事にしろ、一人一人が作つてきた社会が現在あります。そしてまた私達は多くの未来の縁を作っています。だからこそ変える事もできるはずなのです。

次の世代の人々へ、今すぐ自分ができることを考え行動にうつすことが大切なのではないでしょうか。

第51回「身延大会」予告
平成28年10月9日(日)・10日(月・祝)



来年の身延大会(第五十一回大会)に参加を予定する聖徒団の皆様は、宿泊先である宿坊・旅館等に早目のご予約をお願い致します。宿泊先を特定出来ない聖徒団の皆様は、『日蓮宗霊断師会・九段事務所』までお問い合わせ下さい。



心地よいリズムで太鼓を響かせ、一心にお題目をお唱えする姿は、本堂に欠かせない風景です。五時半からの本堂朝勤、お世話になった方々、先代住職のご供養も毎月欠かしません。お寺の行事には、ご夫妻でお手伝いして下さつて、とても頼りになる総代さんです。子どもの頃、不治の病に見舞われたお父様は、残される妻子のために、お寺に通つて祈つたそうです。その後、女手一つで四人の子どもを育て上げたお母様は、法華経信仰とお寺を心の拠り所にされて、その姿を見て自然と信仰が身についたそうです。いつも笑顔で優しく穏やかで、身も心もまさに仏様です。報恩感謝を忘れない池田さんから、いつも多くを学ばせて頂いてます。

全国の聖徒さん紹介

長野県北佐久郡井沢町
妙順寺聖徒団
池田哲夫さん(七十八歳)

津軽宇田山 間法寺



12月13日 午前11時より
「大黒天神大祭」
毎月 最終日曜日「盛運祈願会」

〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住 職 工藤 堯幸・副住職 工藤 堯慎



妙正寺聖徒団
菊地 勲
12月12日(土) 午前11時より
釈尊成道会。星祭祈願祭。(お炊き上げ)
毎月1日午前10時 盛運祈願会
北海道妙正寺聖徒団
〒071-1423
北海道上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914



いかにされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430



本山 妙頭寺
天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!
●郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙頭寺建設委員会
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myokenji.jp



日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団 団長
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

伊豆の伊東に靈断の道場開かれる

全国の聖徒団を訪ねて vol 1



朝善寺聖徒団本堂



左 工藤団長 中 奥様 右 内藤住職

伊豆の伊東に新たに靈断の道場が開かれた。六〇〇年の歴史を持つ朝善寺は眼病守護及び学業成就の靈験で有名な行学院日朝上人(身延山久遠寺第十一世)誕生の靈跡寺院であり、地元ではお花のお寺としても有名。現住職内藤歆風上人・奥様が命懸けで護って来られた朝善寺に、元青森県聞法寺聖徒団の工藤堯顯上人が副住職として入った。朝善寺では開山以来初めて靈断師が入ることとなり、朝善寺聖徒団(工藤堯顯団長)が結成さ

静岡県伊東 朝善寺聖徒団

れることとなった。工藤団長は内藤住職を支えながら九職靈断法で聖徒の道を照らし、俱生神月守で安心を与え、聖徒団を活性化させている。七三四遠忌御会式法要に取材に行かせていただいた。

内藤住職は「工藤団長が来てくれて聖徒の皆さんが生き生きしてきて、お寺の雰囲気が変わってきた。本当に靈断法の力は素晴らしい。ご祈祷の力もすごい。自分ができなかったことを工藤団長がしてくれている。これからもその力を生かして、お題目を弘め世界の平和に繋がって行く布教に励んでほしい」と我が子を見つめるような優しい眼差しで期待を語ってくれた。(※内藤住職は少欲知足をテー

『お寺に行くと元気になります 朝善寺聖徒団が私達の誇りです』

マにしたエコライフ NPOシンブルライフ普及センターの代表でもあり、世界平和活動にも大きく貢献されている)



護持会長 杉本 順さん

「青森から良く来ていた だきました」

「前日からお会式の準備・飾り付けを役員みんなでしました。夜は灯籠に灯りが灯されて神秘的なんです。是非全国からお参りに来て欲しい。」

工藤団長が来られて毎月一日の盛運祈願会など行事が増えて楽しみが増えたんです。一所懸命走り回って来て指示を出し

てくれるおかげで聖徒全体がまとまってきました。地域の皆さんが檀家の枠を超えて行事に来てくれるような聖徒団になって欲しい。遠く青森の聞法寺さんから、知り合いもない静岡まで来てくれて本当に有難い」と明るく話してくれました。



総代 杉本弘男さん

「感動が増え 不思議がいっぱいです」

「工藤団長が来られてお寺に来る機会が増え、感動することが増えました。忙しいだけじゃなく人生に張りが出てきまし

話してくれました。



㊦ 杉本照代さん ㊧ 杉本三枝子さん ㊨ 杉本洋子さん

「俱生神月守は 本当に有難い」

前から活気がありましたが、工藤団長が来られてさらに明るく新しい風が吹き始めました。今まで学んできたことをさらに学び直させていたただいていま

俱生神月守を家族みんなで受け始めて、護られている感謝の気持ちが増えました。

あとは・・・早く可愛いお嫁さんが来てくれればいいな」と伊東の三人のお母さんが素敵な笑顔で話してくれました。



吉池榮子さん

「九職靈断法はすごい！」

震災で仙台の兄が亡くなったんです。

同じ東北人として、工藤団長が来てくださったって兄も自分も救われました。

お題目・九職靈断法・俱生神月守の力はすごいです！ 工藤団長に靈断法で「七面山に無事登れるか」を見ていただ

きました。

五年前に大腸癌になり大きな不安はありましたが、靈断法で大丈夫と言われ、お題目にお任せして団長の叩く団扇太鼓の音に合わせて一心に登りました。兄の供養・家族の幸せを祈りながら、靈断法の通り無事に登ることが出来ました。本堂に登って良かった。朝善寺聖徒団の檀家になって良かった。今つくづく感じながら、家族七人で俱生神月守を受けています。



鈴木智恵子さん 八十五歳

「お参りが楽しみで 生きがいです」

夫婦揃ってボーリングをするのが趣味です。工藤団長が来られてからは毎月一日の盛運祈願会も、日朝講もとても楽しみになってきました。

夫が大腸にポリープが出来て、靈断法でご指導を仰ぎました。

工藤団長から俱生神月守を受け、迫力のあるご祈祷で汗びっしょりになって祈っていたいただきました。お陰をいただいて、心も身体も元気に夫婦で過ごさせていたいただいています。

毎月のお寺参りが楽しみで生きがいです。

工藤堯顯団長

「内藤ご住職・奥様に感謝の気持ちでいっぱいです」

最後に工藤団長は、「全ては内藤ご住職・奥様がお寺の為に活動されてこられたから今の朝善寺の素晴らしさがあるのです。ご住職・奥様に感謝の気持ちでいっぱいです。お二人の築か



朝善寺総代 護持会役員



笑顔の素敵な婦人部の皆様

朝善寺聖徒団初めての一日伝道・御会式法要の様子は1月号で紹介させていただきます。

（取材 教宣部 吉田憲由）

中秋の名月に竹燈夜「国指定名勝」和歌の浦

去る九月二十七日、和歌山市妹背山を舞台に「第三回名勝和歌の浦・観月会・竹燈夜イン妹背山」が開催された。このイベントは国指定名勝・和歌の浦の景観の価値を再認識してもらおうと、同地区で活動する五つの市民団体による実行委員会が主催している。



知見会海禪院聖徒団・松本恵昌団長(本部教宣部長)

り、開催を重ねることに増えている。妹背山は海に浮かぶ小さな島であり、その中に海禪院(知見会海禪院聖徒団・松本恵昌団長)がある。この日、境内の経王堂は点火式の舞台となり、多宝塔がライトアップされ、来場者は竹灯籠の明かりとともに、ゆったりと音楽に聴き入った。

※古代から和歌浦の干潟には小島が連なり、その景観は聖武天皇はじめ都の貴族、文人に愛された。その島のひとつである妹背山の海禪院は、一六四九年、徳川家康の三十三回忌の際に、家康の側室、養珠院様が戦乱の世をへて万人の平和と幸福を願ひ、法華経とお題目を石に書き、妹背山に納め小堂を建てたのが始まりである。その思い



幻想的な竹灯籠



ライトアップされた多宝塔

に賛同した、後水尾上皇や大名、庶民が寄せた経石は、十五万個にも及んだ。養珠院様の没後、徳川頼宣公が小堂を2層の多宝塔(市指定文化財)に改築し、拝殿や唐門を設け整備された。

第五十一回 日蓮大聖人の歩まれた道

諸国への遊学(その四)

靈断院教学部長 小泉 輝泰

「円珍と申す人あり。後には智証大師とがうす。(中略)去ぬる仁嘉三年に御入唐、貞観元年に御帰朝、七年が間天台、真言の二宗を法全、良諍等の人々に習ひさわむ。天台・真言の二宗の勝劣鏡をかけたなり」(随意御書)

蓮長が三井寺に赴いた主な目的は、比叡山第五代座主であり、三井寺では開祖とも仰がれる智証大師円珍が、唐より請来した千余巻と言われる経疏の閲覧と学習でした。

三井寺には、智証大師伝来の『青龍寺求法目録』が格護されています。この目録には、円珍入唐の折に西安の青龍寺にて師事した、伝法阿闍梨法全より求得したとされる密教経典類百十余巻、曼荼羅、法具などが収録されていました。

法全阿闍梨は、密教振興の祖とも称される善無畏三蔵の正統な流れを



汲む弟子とされますので、いわゆる密教の正系を継ぐ僧と言えます。円珍はその法全より密教の奥義を授かり、日本への帰国後には、同じく法全より伝法を受けた円仁に続き、伝教大師の悲願であった天台密教(台

密)の興隆に力を尽くすのです。

青龍寺と言えば、当時の唐においては密教の中心とされる寺です。ここでは円珍のみならず、時代を遡って第三代天台座主であった円仁や、日本真言密教の開祖とも言える弘法大師空海も、やはり密教を深く学びました。弘法大師は、同寺にて恵果阿闍梨より金剛、胎藏の真言両部を授かり、灌頂を受けて日本に真言密教を弘めたとされています。

円珍の求法目録には、伝授された經典類の記録だけでなく、併せて伝法の経緯も詳細に記されています。そのことは、師こそ違えども円



珍が空海と同流となる密教の奥義を伝えられ、それを比叡山にもたらしたことを示しているのです。

円珍は自身の授かった密教教義を

よろこびちゃんの質問箱



よろこびちゃん

どうして年末に大掃除をするの？

それはね、新年を新たな心持ちで始められるように、一年分の汚れを落とし、歳神様を迎える準備をするためよ。日本らしい素晴らしい風習よね。

この大掃除が生まれたのは、平安時代なんですって！江戸時代になると江戸城の大奥で「すす払い」を十二月十三日に行うという決まりができて、民家もそれに倣って掃除をし始めたのよ。

大掃除をする際に、今年一年の反省や感謝をしながら、来年もいい年でありませうよ！と祈りながら、大掃除に自分なりの意味を与えてあげると、苦ではなくなり大切な時間になっていくと思うわ！

お題目を唱えながら願掛けとしての「大掃除」としてもおすすめてよ！

平成二十七年の御守護に感謝して平成二十八年も聖徒の皆さん・世界中の皆さまにとって素晴らしい一年でありますように。一年間「愛読ありがとうございます」



つながる通信員!

教誌よろこびを共に作成している全国の通信員を毎月ご紹介していきます。



No. 8 愛知県 本覚寺聖徒団 伊藤秀温

愛知県内日蓮宗寺院の草野球チーム「ロータス」でがんばっています！
また、二月に女の子が生まれて浮かれちゃってます♪
愛知県から全国によるこびの記事を発信しますよ！

比叡山に持ち帰ることによって、真言密教に遅れをとっていた天台密教の大成を成し遂げましたが、それは同時に、真言系の密教者が提唱する「理同事勝」の理念、すなわち法華経よりも大日経や金剛経の方が実践では勝るといった理屈をも、天台宗内に蔓延させてしまう結果となったのです。

当然のことながら、円珍を祖と仰ぐ寺門派の三井寺では、殊更その傾向は強かったことでしょう。そのような風潮の中に身を置きながら、蓮長は密教教義の神髄を探っていたのです。

よるこび法話

御題目を唱え、 今を楽しんで生きましょう。



神奈川県小田原市
本典寺聖徒団副団長
戸田 雅子

○自ら選んで

娘が三人目の子供を授かり、臨月を迎えた八月に産婦人科へ行った時の事。「予定日は二十七日だけれど赤ちゃんは大きくなっているからいつ産んでもいいですよ。希望の日にはありませんか？」とお医者さまから言われたという。娘



は自然に陣痛が来るのを待ちたいと伝え、その後二十八日に陣痛があり三千四百十六グラムの元気な男の子を出産した。人は生まれて来る時、親を自分で選んで生まれて来るといふ。子供は親を選べないというが、自らの意志で自分の魂の学びに一番相応しい両親、環境、人生を選んでこの世に生まれて来るのである。

○仏様との約束

「衆生を哀愍し願って此の間に生まれ廣く妙法蓮華経を演べ分別するなり、(乃至) 衆生を感むが故に悪世に生まれて廣く此の経を演ぶるなり」 (法師品第十)

私達は何の為にこの世に肉体を持って生まれて来たのであろうか？私達はこの世に生まれて来る前に、それぞれがご本仏様に、この世で自分は何をするのか約束をして生まれて来るといふ。これを本願といふ。

本年十月、ノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智教授は、「世の中に役立つ仕事を一つでも二つでも余計にやりたいと思つて研究を重ねてきた」と話されていた。大村教授は微生物を研究して人々の命を救いたいという本願を持つてこの世に生まれて来たのである。その結果、アフリカの三億人もの人たちの命を救つたのである。「何十年にわたり、こつこつ



と細菌を見つける仕事に精進して来た」と教授は言われたが、「長い間辛い思い、苦しい思いをしました」とは言われなかった。それは、自ら願つた目的とそれを達成するための人生であるからであらう。

○人生に悔いなし

「我等宿福深厚にして、受け難き人身を受け遭ひ難き妙法に遭ひ奉れり」 (充靈願文)

大きな業績を残す生涯でなくとも、人はそれぞれ本願を持つてこの世に生まれて来る。私は何を願つてこの世に生まれて来たのであろうか？今年、還暦を迎え自分の人生を振り返つて見ると、幼い時より意味は分からずとも「南無妙法蓮華経」と唱えていた。そして何時しか御題目は私の心の柱となり、辛いと感じた時も御題目があったればこそ踏ん張れた。

私は御題目の信仰に出会い、周りの人々と共に笑顔で生活をする。そういう人生を送る事を本願として生まれて来たと感じる。法華経、御題目に出会い、素晴らしき人々に出会い、御題目の信仰を少しでも伝える事が出来たなら、我が人生に悔いなしである。

○今を生きる

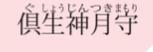
近頃「終活」という言葉を聞く。葬儀やお墓、遺言、遺品の整

理等、死を迎える準備をすることを云う。しかし、人間の肉体は消滅しても本当の自分、魂は生き続けるのである。その魂の安心を考えずによいのであろうか。

今、あることに感謝をし、「この生を空しうすることなかれ」 (守護国家論)

今、御題目を唱え、今を楽しんで生きましょう。

家族みんな
着帯しましょう



眞生神月寺

全国のよろこびちゃん vol.23

宮崎県 龍雲寺聖徒団
平成21年8月27日生まれ
山下 蒼空くん (5歳)

これから仏様に守られて、元気いっぱい
の優しい蒼空くんできてね。
大きくなったら駅長さんになるのが
僕の夢です。

全国のよろこびちゃんを募集しています！

全国のよろこびちゃん vol.22

北海道平取町 照恵寺聖徒団
佐藤 遼太くん (5歳)

好き嫌いの無い遼太君！何を植えよう
かな？家族の為に耕作中！

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一 三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
TEL 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定
仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣莊嚴具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

利生寺

日蓮宗靈断師会会長
利生寺聖徒団副団長
末吉 観道
副団長
末吉 正道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗靈断師会 副会長
日蓮宗宗会議員
正蓮寺聖徒団 団長
大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288